

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	グラン・シード菊水ルーム		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 19日		2026年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 19日		2026年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	スポーツ療育(サッカー等)やSST(ソーシャルスキルトレーニング)、課外活動など、多彩な活動プログラムを提供し、子どもたちが楽しく飽きずに通所できる環境づくりができています。	スポーツ療育では技術だけでなく、挨拶やルール、思いやりの心を育む指導を行っています。また、環境面では保護者様のご意見も踏まえ、安全・暖房面に配慮して床にクッションフロアを敷くなど、心地よい空間づくりを行っています。	楽しいイベントやスポーツ療育が、「感覚統合」や「ソーシャルスキル向上」といった療育的な観点でどのような目的を持っているか、保護者様へより分かりやすく「見える化」してまいります。
2	アセスメントに基づいた丁寧な個別支援計画の作成と、日々の連絡帳(SNS)や面談等を通じた保護者様との密なコミュニケーション、および困りごとに寄り添う相談支援体制が取れています。	支援前後には職員間で打合せや振り返りを行い、チーム連携を図っています。また、保護者様からのご相談にいつでも応じられるよう、日々の送迎時や定期的な面談で丁寧な聞き取りを意識しています。	子どもたちがより落ち着いて過ごせるよう、必要に応じて個別の部屋や場所を使用できる環境づくり(構造化)をさらに進めてまいります。
3	写真や動画、SNS等を活用した定期的な活動報告により、ご家庭でも子どもたちが楽しむ様子を安心してご確認いただける情報発信力があります。	通信やSNSを通じて、日々の活動を写真や動画で分かりやすくお伝えし、ご家庭でも療育の様子を見ていただけるよう工夫しています。	支援終了後の振り返りの質を高めてチーム全体での支援スキル向上に努めるとともに、防災・防犯・感染症等のマニュアルに基づく定期的な訓練を引き続き実施し、安全管理を徹底いたします。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	提供している日々の楽しい活動が「療育」としてどのような特性の改善を目指しているのかについて、保護者様へのご説明や明示が不足していた。	子どもたちが喜ぶ活動の企画や日々の支援を優先するあまり、サッカー療育等の背景にある「5領域へのアプローチ」といった療育的な意図を、保護者様に言葉で丁寧に伝えるプロセスが不足しておりました。	今後は、スポーツ療育や課外活動などのプログラムの意図を明確にし、保護者様にも「療育の観点からの活動目的」をわかりやすくご説明・発信してまいります。
2	同じグループ会社・事業所間での異動時などにおいて、職員間の連携や保護者様へのご説明、いただいたお申し出に対するフィードバック体制が一部不十分であった。	同じ建物内やグループ事業所間での異動が発生した際、事業所間で情報を引き継ぐルールや、保護者様へ事前の説明・返答を行う仕組みが徹底されていませんでした。	いただいた貴重なご意見に真摯に向き合い、今後はグループ会社間で密な連携と情報共有のルールを徹底いたします。ご利用開始・異動時のご説明を確実にし、信頼関係の構築に努めます。
3	放課後児童クラブなど地域の他の子どもたちと活動する機会や、保護者様同士の交流の場、家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の提供が不足している。	日々の安全な支援体制の確保に注力する中で、外部機関との連携や、事業所主催の保護者会・家族向け研修などを企画・実施するための時間を十分に確保できておりませんでした。	地域の児童館などとの交流機会を少しずつ探るとともに、保護者様同士が交流できる場づくりや家族支援プログラムの実施について、実現に向けて前向きに検討を進めてまいります。